



さかいっこ かけはし通信

No.8 2025.12 堺市幼児教育センター



幼保小の先生方が交流することは、こどもの豊かな育ちにつながります。今号では、園の先生方の意見を取り入れ、1年生の絵が変わったという事例を紹介します。

1年生 図工
9月

こどもの作品例

＜題材名＞
「おしゃれなクジャク」
＜目標＞
色と形を工夫して、クジャクの羽を広げよう。

就学前施設ではこどもの「表現したい」という思いを大切にしています。用具や材料の使い方は伝えますが、表現の仕方は一人一人違います！イメージをもちながら、自分なりに表現することを楽しめるようにしています。



園の先生のアドバイスを聞いて、色や形を工夫できるよう、こどもたちがパスと絵の具を自由に使いました。自分だけの「おしゃれなクジャク」の完成です。



＜題材名＞
「まほうをかけたら だいへんしん」
（絵を描いた画用紙に、透明シートをかぶせると、「まほう」がかかったように、元の絵が変身するよ！）
＜目標＞
透明シートの特徴をもとに、想像を広げて表そう。

11月



友達とお話をしながら、やってみよう！どんなまほうをかけたらいいかな？

自分の描きたいものは、どんな色の画用紙に描くとぴったりかな？



園の保育の様子

こどもの自由な発想を引き出す声かけを増やすようにしました。主体性を大事にしつつ、目標に向けて深い学びとなるよう意識しました。



砂場で魔法をかけたよ。砂場が、砂浜に変わり、広い海が広がったよ。気がつくと、私たちも水着に着替えて笑顔になっていたよ！



魔法をかけると、家族3人で魚釣りに行けたよ。びっくりするほど大きなサメが釣れて、パパがそのサメに噛まれそうになったよ！

保育や授業の相互参観をし、感じたことを交流することが、日ごろの保育や授業の充実につながっています。

